

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

上 藤
US
#2

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

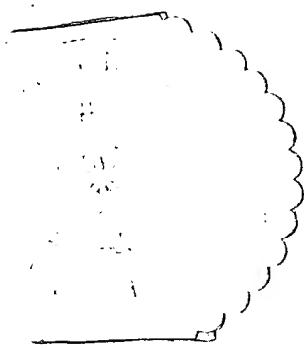
2000年 2月 4日

出願番号
Application Number:

特願2000-028383

出願人
Applicant(s):

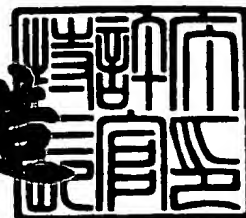
静岡日本電気株式会社



2000年12月22日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3107971

【書類名】 特許願

【整理番号】 01702537

【提出日】 平成12年 2月 4日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04Q 7/38

【発明者】

 【住所又は居所】 静岡県掛川市下俣 8 0 0 番地 静岡日本電気株式会社内

 【氏名】 山本 進義

【特許出願人】

 【識別番号】 000197366

 【氏名又は名称】 静岡日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100102864

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 工藤 実

【選任した代理人】

 【識別番号】 100099553

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大村 雅生

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 053213

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9721917

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ファクシミリ装置および通信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子メールデータまたはインターネットデータを受信可能な端末装置と通信する無線部と、

前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの一部を表示する表示部と、

前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータのうち前記表示部にて表示されない部分を印字する印字部と

を備えたファクシミリ装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載のファクシミリ装置において、

更に、

単数または複数の前記端末装置を登録する登録部と、

前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納する格納部とを備え、

前記格納部は、前記登録部に登録されている前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納し、前記登録部に登録されていない前記端末装置からの前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納しない

ファクシミリ装置。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載のファクシミリ装置において、

前記表示部は、前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの複数の表題を表示し、

前記印字部は、前記表示部にて表示された前記複数の表題の中から選択された表題に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを印字する

ファクシミリ装置。

【請求項 4】 請求項 2 記載のファクシミリ装置において、

前記登録部には、複数の前記端末装置が登録され、

前記表示部は、前記格納部に格納された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータが前記複数の端末装置のいずれかから受信されたかが分かるように表示し、

前記印字部は、前記表示部を参照して選択された前記複数の端末装置のうちのまたは二に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを印字する

ファクシミリ装置。

【請求項 5】 請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のファクシミリ装置において、

前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータは、そのデータ量に基づいて、前記表示部にて表示される第 1 部分と、前記表示部にて表示されない第 2 部分とに分けられる

ファクシミリ装置。

【請求項 6】 請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のファクシミリ装置において、

前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータは、そのデータの種類に基づいて、前記表示部にて表示される第 1 部分と、前記表示部にて表示されない第 2 部分とに分けられる

ファクシミリ装置。

【請求項 7】 ファクシミリ装置と、端末装置とを備えた通信システムであって、

前記端末装置は、

電子メールデータまたはインターネットデータを受信するデータ受信部と、

前記受信された電子メールデータまたはインターネットデータの一部を表示する表示部と、

前記受信された電子メールデータまたはインターネットデータの少なくとも一部を転送するデータ転送部とを備え、

前記ファクシミリ装置は、

前記データ転送部から転送された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを受信する無線部と、

前記無線部にて前記データ転送部から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの一部を表示する表示部と、

前記無線部にて前記データ転送部から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータのうち前記表示部にて表示されない分を印字する印字部を備えている

通信システム。

【請求項 8】 請求項 7 記載の通信システムにおいて、

前記ファクシミリ装置は、更に、

単数または複数の前記端末装置を登録する登録部と、

前記無線部にて前記データ転送部から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納する格納部とを備え、

前記格納部は、前記登録部に登録されている前記端末装置の前記データ転送部から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納し、前記登録部に登録されていない前記端末装置の前記データ転送部からの前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納しない

通信システム。

【請求項 9】 請求項 7 または 8 に記載の通信システムにおいて、

前記表示部は、前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの複数の表題を表示し、

前記印字部は、前記表示部にて表示された前記複数の表題の中から選択された表題に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを印字する

通信システム。

【請求項 10】 請求項 8 記載の通信システムにおいて、

前記登録部には、複数の前記端末装置が登録され、

前記表示部は、前記格納部に格納された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータが前記複数の端末装置のいずれかから受信されたかが分かるよ

うに表示し、

前記印字部は、前記表示部を参照して選択された前記複数の端末装置のうちの
一または二に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを
印字する

通信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ファクシミリ装置および通信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近時、電子メールデータや、インターネットのホームページデータ（HTML
；Hyper Text Markup Languageで記述されたデータ
。以下、インターネットデータと称される）を受信して表示する携帯端末装置が
知られている。ここで、携帯端末装置の表示部は、その表示面積が小さいことか
ら、多量の電子メールデータまたはインターネットデータを表示するのに適さな
い。

【0003】

一方、屋内に設置される電子メールデータおよびインターネットデータを受信
可能な装置であっても、低コストおよび省スペースの観点から、パーソナルコン
ピュータのディスプレイ（CRT、LCD）程度に大きな表示面積（15インチ
乃至17インチ）を有する表示部が、必ずしも必要とされるわけではない。

【0004】

さらに、パーソナルコンピュータにて受信された電子メールデータおよびイン
ターネットデータを印字するには、パーソナルコンピュータ以外にプリンタが必要
である。

【0005】

最近、iモードと称される携帯電話機向けのオンライン情報サービスがNTT
ドコモ社より提供されている。iモードのサービスを受ける携帯電話機は、イン

ターネットデータを受信することができる。ただし、その携帯電話機の表示部にて表示されるのは、iモード対応のサイト（ホームページ）のみである。一般のホームページでは、テーブルやフレーム、スタイルシート、J a v aを含む様々な技術が使われているが、現行のiモードサービスにて表示（認識）されるのは、文字データおよびサイズの小さなモノクロ画像データのみである。なお、iモード以外にも、携帯端末からインターネットにアクセスする技術が各社より提供されている。

【 0 0 0 6 】

特開平 1 0 - 3 2 2 5 0 9 号公報には、以下の携帯ファクシミリ装置が開示されている。電子メールデータの送受信、インターネットデータの受信を行うとともに、電子メールデータ、インターネットデータの内容を出力することを課題として提供され、デジタルインターフェースによって電子メールサーバから電子メールデータを受信し、R A M によって受信したデータを記憶し、プリンタによって記憶したデータを出力する。また、デジタルインターフェースによって、記憶したデータを通信路を介して接続された任意の装置へ転送する。

【 0 0 0 7 】

特開平 1 0 - 6 5 7 7 3 号公報には、以下のインターネット端末装置が開示されている。一つの筐体内に P H S 電話機接続端子及び／又は公衆電話回線に接続するためのモデム装置を内蔵し、P H S 電話機接続端子及び／又は公衆電話回線からのインターネット信号を入力し、インターネット送受信を目的とした処理装置によって処理された信号内容を、内蔵するテレビ・エンコーダ回路を介して外部のテレビ受信機に表示する。

【 0 0 0 8 】

特開平 1 0 - 3 0 7 7 6 6 号公報には、以下のデータベースアクセス方法及び方式が開示されている。センタ側システムとは通信手段をかつ電話網端末とは電話網をそれぞれ介して接続するゲートウェイ装置は、通信手段と接続するWWWクライアント接続部と、電話網と接続し入力するプッシュボタン信号を受信するP B 信号受信機能部と、電話網と接続し音声案内を出力する音声案内生成機能部と、P B 信号をデータベース機能部が認識し得る適切な情報に変換してWWWク

ライアント機能部に提供するとともにWWWクライアント機能部に通信手段から入力した情報を適切な情報に変換して音声案内機能部に転送する情報変換機能部とを備える。

【 0 0 0 9 】

特開平 1 1 - 2 2 5 3 7 1 号公報には、以下の携帯情報端末装置が開示されている。電子メールサーバからの送信であった場合には自動的に電子メール送受信部が起動し、回線を通話状態にした後電子メールの受信を開始する。送信の場合は電話番号を入力することで発信先を同様の手段で特定する。電話番号から電子メールサーバへの通信と判明した場合は自動的に電子メール送受信部が起動し、電子メールの送信を開始する。

【 0 0 1 0 】

【発明が解決しようとする課題】

外部端末又は携帯端末装置にて受信された電子メールデータまたはインターネットデータのうち、その外部端末又は携帯端末装置の表示部にて表示されることが適さないデータが、簡易な装置で閲覧できることが望まれる。

また、複数の外部端末又は携帯端末装置にて受信された電子メールデータまたはインターネットデータが、簡易な装置で閲覧できることが望まれる。

【 0 0 1 1 】

【課題を解決するための手段】

その課題を解決するための手段が、下記のように表現される。その表現中の請求項対応の技術的事項には、括弧 () つき、番号、記号等が添記されている。その番号、記号等は、請求項対応の技術的事項と実施の複数・形態のうちの少なくとも一つの形態の技術的事項との一致・対応関係を明白にしているが、その請求項対応の技術的事項が実施の形態の技術的事項に限定されることを示すためのものではない。

【 0 0 1 2 】

本発明のファクシミリ装置 (1 0 0) は、電子メールデータまたはインターネットデータを受信可能な端末装置 (7) と通信する無線部 (3) と、前記無線部 (3) を介して前記端末装置 (7) から受信された前記電子メールデータまたは

前記インターネットデータの一部を表示する表示部（２）と、前記無線部（３）を介して前記端末装置（７）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータのうち前記表示部（２）にて表示されない部分を印字する印字部（４）とを備えている。

【 0 0 1 3 】

本発明のファクシミリ装置（１００）において、更に、単数または複数の前記端末装置（７）を登録する登録部（１２）と、前記無線部（３）を介して前記端末装置（７）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納する格納部（１）とを備え、前記格納部（１）は、前記登録部（１２）に登録されている前記端末装置（７）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納し、前記登録部（１２）に登録されていない前記端末装置（７）からの前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納しない。

【 0 0 1 4 】

本発明のファクシミリ装置（１００）において、前記表示部（２）は、前記無線部（３）を介して前記端末装置（７）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの複数の表題を表示し、前記印字部（４）は、前記表示部（２）にて表示された前記複数の表題の中から選択された表題に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを印字する。

【 0 0 1 5 】

本発明のファクシミリ装置（１００）において、前記登録部（１２）には、複数の前記端末装置（７）が登録され、前記表示部（２）は、前記格納部（１）に格納された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータが前記複数の端末装置（７）のいずれかから受信されたかが分かるように表示し、前記印字部（４）は、前記表示部（２）を参照して選択された前記複数の端末装置（７）のうちの一または二に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを印字する。

【 0 0 1 6 】

本発明のファクシミリ装置（１００）において、前記無線部（３）を介して前

記端末装置（７）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータは、そのデータ量に基づいて、前記表示部（２）にて表示される第１部分と、前記表示部（２）にて表示されない第２部分とに分けられる。

【 0 0 1 7 】

本発明のファクシミリ装置（１００）において、前記無線部（３）を介して前記端末装置（７）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータは、そのデータの種類に基づいて、前記表示部（２）にて表示される第１部分と、前記表示部（２）にて表示されない第２部分とに分けられる。

【 0 0 1 8 】

本発明の通信システムは、ファクシミリ装置（１００）と、端末装置（７）とを備えた通信システムであって、前記端末装置（７）は、電子メールデータまたはインターネットデータを受信するデータ受信部と、前記受信された電子メールデータまたはインターネットデータの一部を表示する表示部（７ａ）と、前記受信された電子メールデータまたはインターネットデータの少なくとも一部を転送するデータ転送部（９）とを備え、前記ファクシミリ装置（１００）は、前記データ転送部（９）から転送された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを受信する無線部（３）と、前記無線部（３）にて前記データ転送部（９）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの一部を表示する表示部（２）と、前記無線部（３）にて前記データ転送部（９）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータのうち前記表示部（２）にて表示されない分を印字する印字部（４）を備えている。

【 0 0 1 9 】

本発明の通信システムにおいて、前記ファクシミリ装置（１００）は、更に、単数または複数の前記端末装置（７）を登録する登録部（１２）と、前記無線部（３）にて前記データ転送部（９）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納する格納部（１）とを備え、前記格納部（１）は、前記登録部（１２）に登録されている前記端末装置（７）の前記データ転送部（９）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納し、前記登録部（１２）に登録されていない前記端末装置（７）の前記デ

ータ転送部（９）からの前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを格納しない。

【 0 0 2 0 】

本発明の通信システムにおいて、前記表示部（２）は、前記無線部（３）を介して前記端末装置（７）から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの複数の表題を表示し、前記印字部（４）は、前記表示部（２）にて表示された前記複数の表題の中から選択された表題に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを印字する。

【 0 0 2 1 】

本発明の通信システムにおいて、前記登録部（１２）には、複数の前記端末装置（７）が登録され、前記表示部（２）は、前記格納部（１）に格納された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータが前記複数の端末装置（７）のいずれかから受信されたかが分かるように表示し、前記印字部（４）は、前記表示部（２）を参照して選択された前記複数の端末装置（７）のうちの一または二に対応する前記電子メールデータまたは前記インターネットデータを印字する。

【 0 0 2 2 】

本発明では、インターネットおよび電子メールの詳細情報（例えば、インターネットであればホームページ詳細、電子メールであれば添付ファイルの内容等）を見たい場合には、ブラウジング・電子メール機能で実現した詳細情報をプリントアウトして見ることができる。

また、本発明では、インターネットおよび電子メールの簡易的内容（例えば、インターネットであればiモード対応のホームページ程度、電子メールであれば本文のみ等）を本ファクシミリ装置に付属のコードレス子機にて表示することができる。

また、本発明では、iモード等のインターネット閲覧および電子メールに対応している現行の携帯電話またはPHS等の無線携帯端末にて実現した、これらの端末では見られないインターネットおよび電子メールの詳細情報（例えば、インターネットであればホームページ詳細、電子メールであれば添付ファイルの内容

等)を規格化されたデジタルデータ通信により本ファクシミリ装置に取り込み、プリントアウトにより見ることができる。

【0023】

【発明の実施の形態】

以下、図1を参照して、本発明のファクシミリ装置の一実施形態が説明される。

図1において、符号100は、本実施形態のファクシミリ装置を示している。

図1は、ファクシミリ装置100のうち、主として、インターネットの閲覧および電子メール機能に対応する構成を示すブロック図である。

【0024】

本実施形態のファクシミリ装置100は、装置本体20と、装置本体20に付属されたコードレス子機6とを有している。装置本体20には、ブラウジング・電子メール機能部1と、表示部2と、無線部3と、記録部4と、制御部5と、入力部11と、登録部12と、読み取り部13と、通信部14と、ハンドセット（送受話部）15とが設けられている。

【0025】

装置本体20は、回線Lを介して、WWW（WWW：World Wide Web）サーバ（図示されず）に接続されている。回線Lは、PSTN（Public Switched Telephone Network；公衆交換電話網）またはISDN（Integrated Services Digital Network；総合デジタル通信網）回線である。

【0026】

コードレス子機6には、表示部6aが設けられている。表示部6aは、LCD（Liquid Crystal Display）装置である。表示部6aのLCDは、表示画面が小さいため、多量のデータは表示されない。

【0027】

制御部5には、ブラウジング・電子メール機能部1と、表示部2と、無線部3と、記録部4と、入力部11と、登録部12と、読み取り部13および通信部14が接続されている。制御部5は、ブラウジング・電子メール機能部1と、表示

部 2 と、無線部 3 と、記録部 4 と、入力部 1 1 と、登録部 1 2 と、読み取り部 1 3 および通信部 1 4 を制御する。

【 0 0 2 8 】

通信部 1 4 は、制御部 5 と、無線部 3 と、ハンドセット 1 5 と、回線 L に接続されている。通信部 1 4 は、送受信に際して、回線 L の回線制御を行う。

通信部 1 4 は、無線部 3 またはハンドセット 1 5 から入力された送話信号を変調して回線 L に出力する。通信部 1 4 は、回線 L から入力された受話信号を復調して無線部 3 またはハンドセット 1 5 に出力する。

【 0 0 2 9 】

読み取り部 1 3 は、読み取り原稿 D を読みとって F A X 送信信号を生成し、制御部 5 に出力する。通信部 1 4 は、制御部 5 から入力された F A X 送信信号を変調して回線 L に出力する。通信部 1 4 は、回線 L から入力された F A X 受信信号を復調して制御部 5 に出力する。記録部 4 は、制御部 5 から入力された F A X 受信信号を記録する。

【 0 0 3 0 】

入力部 1 1 には、U R L データが入力される。また、入力部 1 1 には、記録命令が入力される。記録命令とは、ブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信された電子メールデータおよび／またはインターネットデータのうち、表示部 2 および表示部 6 a では表示されないデータを記録する旨を示す。また、記録命令は、携帯端末 7 から無線部 3 にて受信された電子メールデータおよび／またはインターネットデータを記録する旨を示す。

【 0 0 3 1 】

また、入力部 1 1 には、装置本体 2 0 と電子メールデータおよび／またはインターネットデータの通信を行う携帯端末 7 を、登録部 1 2 に登録するためのデータが、ユーザによって入力される。装置本体 2 0 と通信する携帯端末 7 は、単数に限らず複数登録されることができる。上記入力されるデータは、その登録される携帯端末 7 が特定（識別）されるためのデータであり、その携帯端末 7 の電話番号であることができる。

【 0 0 3 2 】

ブラウジング・電子メール機能部 1 は、送信部 1 a と、受信部 1 b と、画像データ生成部 1 c とを有している。

送信部 1 a は、回線 L を介して WWW サーバと接続され、入力部 1 1 により入力された URL データを WWW サーバに送信する。

受信部 1 b は、回線 L を介して WWW サーバと接続され、上記 URL データによって特定される HTML データ（インターネットデータ）を WWW サーバから受信する。

画像データ生成部 1 c は、受信部 1 b によって受信された HTML データに対応する画像データを生成する。生成された画像データの全部または一部は、制御部 5 を介して表示部 2 にて表示される。

【 0 0 3 3 】

ブラウジングおよび電子メール機能部 1 は、インターネットのホームページを閲覧する機能、および電子メールを送受信する機能を有している。ブラウジング・電子メール機能部 1 は、i モード対応のホームページのみならず、通常一般のホームページを閲覧することができる。

ブラウジングおよび電子メール機能部 1 は、ブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信された、または携帯端末 7 にて受信され無線部 3 を介して携帯端末 7 から受信された、インターネットデータおよび電子メールデータの全データ（簡易的情報および詳細情報の両方が含まれる）を格納する。

ブラウジングおよび電子メール機能部 1 は、制御部 5 により発行された制御命令に応答して、ブラウジングおよび電子メール機能部 1 に格納されたデータを記録部 4 に送出する。

【 0 0 3 4 】

表示部 2 は、ブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信された、または携帯端末 7 にて受信され無線部 3 を介して携帯端末 7 から受信された、インターネットデータおよび／または電子メールデータのうち簡易的情報を表示する。表示部 2 は、LCD 装置である。表示部 2 の LCD は、表示画面が小さいため、多量のデータは表示されない。したがって、表示部 2 には、簡易的情報のみが表示される。

【 0 0 3 5 】

無線部 3 は、インターネット閲覧および電子メールに対応している携帯電話・PHS 等の無線携帯端末 7 と、デジタルデータ通信 A を行う。また、無線部 3 は、コードレス子機 6 と、デジタルデータ通信 A を行う。

記録部 4 は、制御部 5 により発行された制御命令に応答して、ブラウジングおよび電子メール機能部 1 から送出されたデータを記録（紙に印字、プリントアウト）する。

【 0 0 3 6 】

制御部 5 は、入力部 1 1 から入力された記録命令に応答して、制御命令を発行し、その制御命令を、ブラウジング・電子メール機能部 1 および記録部 4 に出力する。

【 0 0 3 7 】

制御部 5 は、ブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信された、または携帯端末 7 にて受信され無線部 3 を介して携帯端末 7 から受信された、インターネットデータおよび／または電子メールデータを、そのデータの種別に基づいて、簡易的情報と、詳細情報とに分ける。ここで、簡易的情報とは、表示部 2 または表示部 6 a にて表示されるべき情報である。詳細情報とは、表示部 2 または表示部 6 a にて表示されず記録部 4 にて記録されるべき情報である。

【 0 0 3 8 】

具体的には、「データの種別」は、テキストデータと、テキストデータ以外のデータに分類される。テキストデータは、簡易的情報に分類され、テキストデータ以外のデータ（T I F F データを含む画像（グラフィック）データなど）は詳細情報に分類される。あるいは、簡易的情報とは、インターネットデータであれば i モード対応のホームページのデータである。また、電子メールデータによく見られるように、本文データに添付ファイルが付属されている場合には、本文データは簡易的情報に分類され、添付ファイルは詳細情報に分類される。

【 0 0 3 9 】

制御部 5 は、簡易的情報と詳細情報との分類を、上記データの種別に代えて、データ量に基づいて行うことができる。受信されたある単位のデータは、そのデ

ータ量が基準値以上であれば、詳細情報に分類され、基準値未満であれば簡易的情報に分類される。パケットで通信されるインターネットデータは、そのパケットのヘッダに記述されるデータ量に基づいて、簡易的情報と詳細情報とに分類される。上記の場合、分類基準となるデータ量の値は、装置本体 2 0 に予め格納されることができる。または、分類基準となるデータ量の値は、ユーザが設定することが可能である。

また、簡易的情報と詳細情報との分類は、上記データの種類とデータ量の組み合わせに基づいて行われることができる。

【 0 0 4 0 】

表示部 2 および表示部 6 a のそれぞれには、制御部 5 の制御により、ブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信された、または携帯端末 7 にて受信され無線部 3 を介して携帯端末 7 から受信された、インターネットデータおよび電子メールデータのうちの上記簡易的情報が表示される。

【 0 0 4 1 】

ファクシミリ装置 1 0 0 では、ブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信された、または携帯端末 7 にて受信され無線部 3 を介して携帯端末 7 から受信された、インターネットや電子メールの内容は、簡易的情報として、装置本体 2 0 の表示部 2 およびコードレス子機 6 の表示部 6 a で簡易的に閲覧される。その詳細情報の閲覧が希望される場合には、装置本体 2 0 の記録部 4 によって記録される。

【 0 0 4 2 】

携帯端末 7 は、i モード（N T T ドコモ社のサービス）対応の携帯端末である。携帯端末 7 は、装置本体 2 0 に対して親機・子機の関係にない外部機器であることができる。携帯端末 7 は、インターネットの簡易的なブラウジング機能、および電子メール機能を有している。携帯端末 7 で受信されたインターネットデータおよび／または電子メールデータは、その携帯端末 7 では表示部 7 a にて簡易的に閲覧されるのみである。例えば、電子メールでは添付ファイルは閲覧されることができない。表示部 7 a は、L C D 装置である。表示部 7 a の L C D は、表示画面が小さいため、多量のデータは表示されない。

なお、携帯端末 7 は、i モード対応の携帯端末に限らず、インターネットデータおよび／または電子メールデータを受信することができるものであれば、その他の端末であることができ、さらに、その端末は携帯用以外の端末であることができる。

【 0 0 4 3 】

携帯端末 7 は、データ転送部 9 を有している。データ転送部 9 は、携帯端末 7 により受信されたインターネットデータおよび／または電子メールデータを、ファクシミリ装置 1 0 0 を含む外部機器に、デジタルデータ通信 A というプロトコルに基づいて転送する。携帯端末 7 には、データ転送部 9 からデータを転送する先であるファクシミリ装置 1 0 0 がユーザにより登録されている。携帯端末 7 には、ファクシミリ装置 1 0 0 の電話番号が登録されている。データ転送部 9 は、インターネットデータおよび／または電子メールデータを受信したとき、携帯端末 7 のユーザの操作に応答して、または、自動的に、その登録されたファクシミリ装置 1 0 0 の電話番号を発呼してファクシミリ装置 1 0 0 にデータを転送する。

【 0 0 4 4 】

図 2 のステップ S 1 に示されるように、携帯端末 7 がインターネットデータおよび／または電子メールデータを受信すると、データ転送部 9 は、ファクシミリ装置 1 0 0 の電話番号を発呼する。ファクシミリ装置 1 0 0 は、その発呼が、登録部 1 2 に登録されている携帯端末 7 からのものであるか否かを判定する（ステップ S 2）。

【 0 0 4 5 】

その判定の結果、その発呼が登録部 1 2 に登録済の携帯端末 7 からのものであると判定されたときには（ステップ S 2 - Y）、その携帯端末 7 とファクシミリ装置 1 0 0 との通信回線が接続する（ステップ S 3）。携帯端末 7 とファクシミリ装置 1 0 0 との回線が接続されると、携帯端末 7 は、受信したインターネットデータおよび／または電子メールデータをファクシミリ装置 1 0 0 に転送する（ステップ S 4）。そのデータ転送が終了すると、携帯端末 7 とファクシミリ装置 1 0 0 との回線接続が断たれる（ステップ S 5）。上記判定の結果、その発呼が

、登録部 1 2 に登録済の携帯端末 7 からのものではないと判定されたときには（ステップ S 2 - N）、その携帯端末 7 とファクシミリ装置 1 0 0 との通信回線は接続されない（ステップ S 6）。

【 0 0 4 6 】

上記ステップ S 4 において、ファクシミリ装置 1 0 0 は、携帯端末 7 により受信されたインターネットデータおよび／または電子メールデータの全てのデータを、データ転送部 9 から受信する。

【 0 0 4 7 】

あるいは、次に述べるように、ファクシミリ装置 1 0 0 は、携帯端末 7 により受信されたインターネットデータおよび／または電子メールデータのうちの一部を、データ転送部 9 から受信することができる。図 3 に示されるように、携帯端末 7 とファクシミリ装置 1 0 0 との回線が接続された段階（ステップ S 3）で、装置本体 2 0 の表示部 2 には、携帯端末 7 にて受信されているインターネットデータおよび／または電子メールデータの複数の表題（インデックス）が表示され、ユーザは、入力部 1 1 を操作して、その表示された表題の中からファクシミリ装置 1 0 0 に転送されるべき表題を選択する（ステップ 3 a）。これにより、上記選択された表題に対応する選択情報が制御部 5 にて生成され、無線部 3 から送信される。携帯端末 7 は、その選択情報を受信し、データ転送部 9 は、選択情報に対応する表題のデータ（詳細情報）を読み出す。その後、その選択された表題のデータが携帯端末 7 からファクシミリ装置 1 0 0 に転送される（ステップ 4 a）。

【 0 0 4 8 】

上記は、ファクシミリ装置 1 0 0 が、ファクシミリ装置 1 0 0 に転送されるデータを選択（制御）する例である。これに代えて、携帯端末 7 が、ファクシミリ装置 1 0 0 に転送されるデータを制御することができる。データ転送部 9 は、携帯端末 7 により受信されたインターネットデータおよび／または電子メールデータのデータ量が予め設定された値を超えているときに、ファクシミリ装置 1 0 0 を無線呼出しし、無線部 3 と無線接続が行われた後、その受信データの全部または一部を転送することができる。

また、データ転送部 9 は、携帯端末 7 により受信されたインターネットデータおよび／または電子メールデータの種類に応じて、ファクシミリ装置 1 0 0 に、その受信データを転送することができる。ここで、「データの種類に応じて」とは、受信データが例えば画像データを含む場合には、ファクシミリ装置 1 0 0 に転送される、という意味である。

上記において、予め定められたデータ量およびデータの種類のそれぞれは、携帯端末 7 に予めまたはユーザの操作により設定されることができる。

【0 0 4 9】

さらに、携帯端末 7 において受信されたインターネットデータおよび／または電子メールデータのうち、表示部 7 a では表示されない詳細箇所の閲覧が希望される場合にその都度、ユーザは携帯端末 7 を操作して、その受信データの全部または一部をファクシミリ装置 1 0 0 に転送することができる。

【0 0 5 0】

携帯端末 7 において受信されたインターネットデータがファクシミリ装置 1 0 0 に転送されている間は、装置本体 2 0 の表示部 2 には、図 5 の符号 2 1 に示されるように、「ホームページ情報受信済」と表示される。携帯端末 7 から装置本体 2 0 に転送されたインターネットデータは、前述されたように、ブラウジング・電子メール機能部 1 に格納される。

【0 0 5 1】

携帯端末 7 から転送され、および／または、携帯端末 7 ではなくブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信され、ブラウジング・電子メール機能部 1 に格納されたインターネットデータが記録部 4 にて記録されるときについて説明される。

【0 0 5 2】

まず、装置本体 2 0 の表示部 2 に、図 5 の符号 2 2 に示されるように、ブラウジング・電子メール機能部 1 に格納されたインターネットデータの表題（ホームページタイトル）が表示される。ここで、その表題が表示されるインターネットデータは、単数または複数の携帯端末 7 から転送されたデータおよび／またはブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信されたデータである。

複数の携帯端末 7 のそれぞれから転送されたインターネットデータは、そのインターネットデータがいずれの携帯端末 7 から転送されたかが分かるように、複数の携帯端末 7 のそれぞれごとに、そのホームページタイトルが表示される。この場合、ブラウジング・電子メール機能部 1 にて受信されたデータであることも分かるように、そのホームページタイトルが表示される。

【 0 0 5 3 】

符号 2 2 に示される、ホームページタイトルが示される表示部 2 を参照して、ファクシミリ装置 1 0 0 のユーザは、入力部 1 1 を操作して、表示を希望するホームページタイトルを選択する。ここでは、「ホームページタイトル 1」が選択されたとすると、そのホームページ 1 の内容が表示部 2 に表示される（符号 2 3）。このとき、表示部 2 の画面サイズ等の制約からそのホームページ 1 の内容の全てが表示されるとは限らず、その一部（簡易的情報）が表示されることがある。

【 0 0 5 4 】

そのホームページ 1 の内容が示される表示部 2 を参照して、ユーザは、記録命令を入力部 1 1 に入力する。制御部 5 は、記録命令に応答して、制御命令を発行し、記録部 4 に出力する。記録部 4 は、制御命令に応答して、そのホームページ 1 の内容の全て（詳細情報が含まれる）を記録する。そのホームページ 1 の内容が記録部 4 にて記録されているときには、符号 2 4 に示されるように、ホームページ 1 がプリント中である旨が表示部 2 に表示される。

【 0 0 5 5 】

データ転送部 9 と無線部 3 との間で行われるデジタルデータ通信 A の具体的な通信形態としては、現行の i モードで使用されている 9 6 0 0 b p s のパケット通信に加えて、またはピアフによる 6 4 K b p s の通信、さらに B l u e t o o t h による 1 M b p s またはそれ以上の通信であることができる。

【 0 0 5 6 】

子機 6 と無線部 3 との間で行われるデジタルデータ通信 A についても、上記と同様である。無線部 3 から子機 6 へは、ブラウジングおよび電子メール機能部 1 で受信された全データまたは携帯端末 7 から転送された全データのうち簡易的情

報のみが送られる。記録部4にて記録されるべきデータは、ブラウジング・電子メール機能部1に格納されていることから、子機6から無線部3へは、記録部4に記録を行わせる命令（記録命令）のみが送られ、データの転送は行われない。

【0057】

インターネット閲覧および電子メールの送受信は、ブラウジング・電子メール機能部1または携帯端末7にて実現される。

装置本体20の表示部2およびコードレス子機6の表示部6aでは、現行のiモード対応等の携帯端末7のように、インターネットデータおよび電子メールデータのそれぞれの簡易的情報のみが表示される。

【0058】

ブラウジング・電子メール機能部1にて受信された、または携帯端末7から転送された、全てのインターネットデータおよび電子メールデータのうち、簡易的情報を除く、詳細情報の閲覧が希望される場合には、制御部5は、入力部11から入力された記録命令に応答して、制御命令を発行し、ブラウジング・電子メール機能部1および記録部4に出力する。ブラウジング・電子メール機能部1は、制御命令に応答して、その制御命令に対応するデータ（詳細情報が含まれる）を記録部4に出力する。記録部4は、ブラウジング・電子メール機能部1から入力されたデータを記録する。記録部4がプリントアウトすることにより、表示部2、6aでは表示されない詳細情報が閲覧される。

【0059】

ブラウジング・電子メール機能部1にて受信された、または携帯端末7から転送された、全ての電子メールデータおよびインターネットデータのうち、表示部2および表示部6aにて表示される上記簡易的情報は、ユーザが設定することができる。例えば、iモード対応のホームページデータに含まれる画像データは、表示部2および表示部6aに表示されるのに時間がかかり、その間の通話料金が嵩む。そこで、ブラウジング・電子メール機能部1にて受信されたデータのうち、画像データは表示部2および表示部6aに表示されないように設定することで、表示速度が向上する。

【0060】

i モード等のインターネット閲覧および電子メール受信に対応している現行の携帯電話・PHS等の無線携帯端末7は、データを記録する記録手段を有していない。また、i モード対応の無線携帯端末7は小容量のメモリしか有していない。無線携帯端末7の表示部7aは、簡易的なものであるため、閲覧されるのは受信された全情報のうち簡易的情報に過ぎない。

【0061】

無線携帯端末7のデータ転送部9と無線部3との間において、規格化されたデジタルデータ通信Aが行われることで、前述の詳細情報が装置本体20に取り込まれ、記録部4にてプリントアウトされる。

【0062】

コードレス子機6において、インターネット閲覧および電子メール受信がなされる際は、ブラウジング・電子メール機能部1にて受信された全情報のうちの簡易的情報が、無線部3からコードレス子機6にデジタルデータとして、デジタルデータ通信Aにより送信される。コードレス子機6の表示部6aには、無線部3から受信された上記簡易的情報が表示される。前述の詳細情報の閲覧が希望される場合には、子機6において発行された記録命令が無線部3を介して制御部5に入力され、制御部5の制御のもと、記録部4にてプリントアウトされる。

【0063】

本実施形態によれば、以下の効果が得られる。

装置本体20およびコードレス子機6のそれぞれの表示部2、6aにてインターネットデータおよび電子メールデータのうちの簡易的情報の表示（概略表示）が行われる。必要に応じて、その詳細情報は、装置本体20の記録部4にてプリントアウトされて閲覧される。

【0064】

簡易的情報が表示されるに過ぎない携帯電話・PHS等の無線携帯端末7にて受信されたインターネットデータや電子メールデータの詳細情報は、装置本体20にデジタルデータにて送信される。これにより、無線携帯端末7では閲覧されることができなかった詳細情報が、記録部4にてプリントアウトされることにより、閲覧可能となる。

【 0 0 6 5 】

【発明の効果】

本発明によれば、外部機器としての端末にて受信された電子メールデータおよび／またはインターネットデータを受信して、その受信データの全てが印字されることにより閲覧可能である。したがって、本発明では、大きな表示面積を有する表示部を備えることなく、受信データの全てを閲覧可能である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明のファクシミリ装置の一実施形態を示すブロック図である。

【図 2】

図 2 は、本実施形態のファクシミリ装置に外部端末からデータが転送される時の流れの一例を示すフローチャートである。

【図 3】

図 3 は、本実施形態のファクシミリ装置に外部端末からデータが転送される時の流れの他の例を示すフローチャートである。

【図 4】

図 4 は、本実施形態のファクシミリ装置に転送されたデータが印字される時の流れの一例を示すフローチャートである。

【図 5】

図 5 は、本実施形態のファクシミリ装置にデータが転送されてから印字されるまでの各状態を示す表示部の表示例を示す図であり、（a）は転送中を示し、（b）はデータの選択画面を示し、（c）は選択されたデータの内容が表示されている画面を示し、（d）は選択されたデータの印字中を示す図である。

【符号の説明】

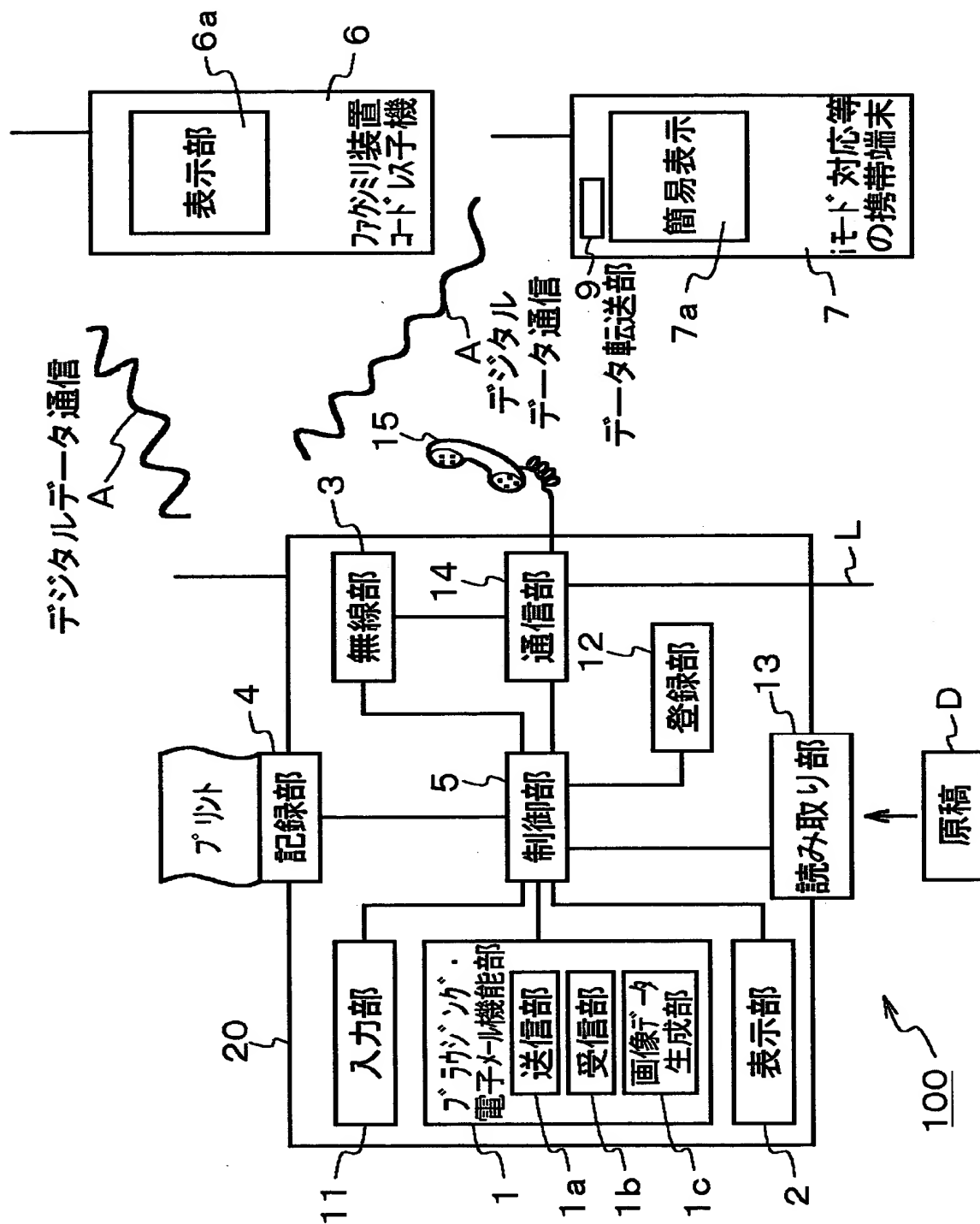
- 1 ブラウジング・電子メール機能部
 - 1 a 送信部
 - 1 b 受信部
 - 1 c 画像データ生成部
- 2 表示部

- 3 無線部
- 4 記録部
- 5 制御部
- 6 コードレス子機
 - 6 a 表示部
- 7 携帯端末
 - 7 a 表示部
- 9 データ転送部
 - 1 1 入力部
 - 1 2 登録部
 - 1 3 読み取り部
 - 1 4 通信部
 - 1 5 ハンドセット
- 2 0 装置本体
 - 1 0 0 ファクシミリ装置
- A デジタルデータ通信
- D 原稿
- L 回線

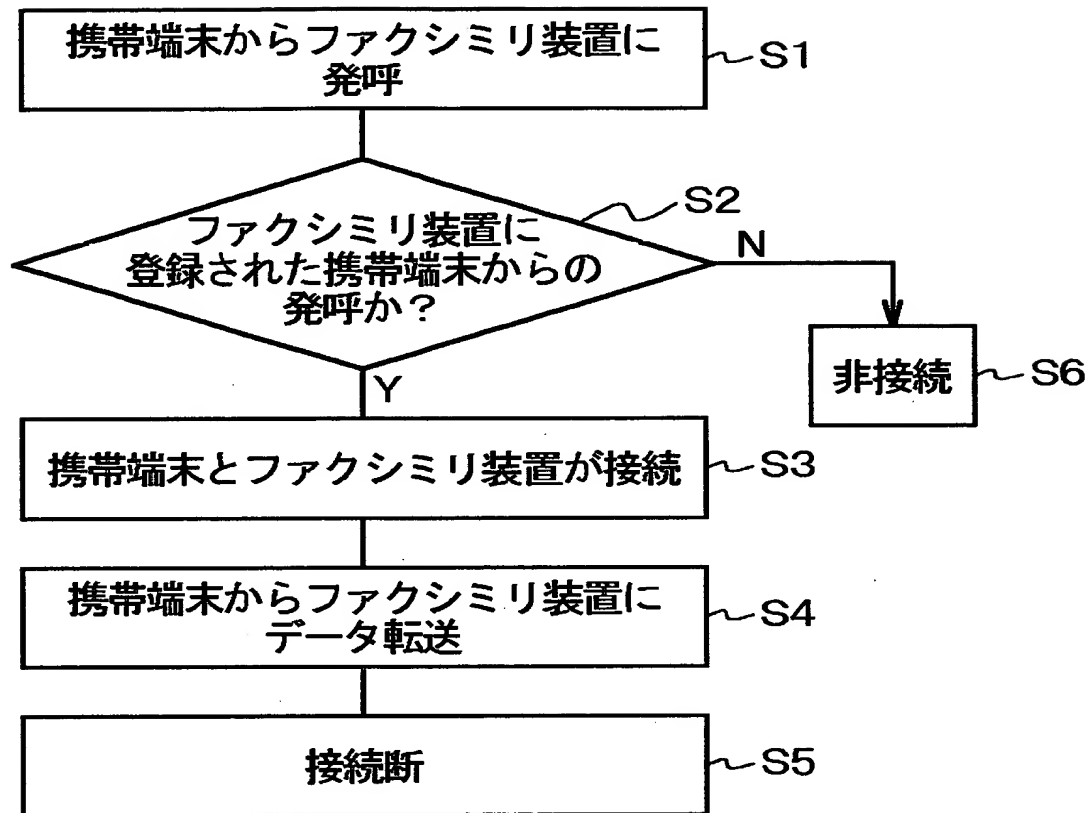
特 2 0 0 0 - 0 2 8 3 8 3

【書類名】 図面

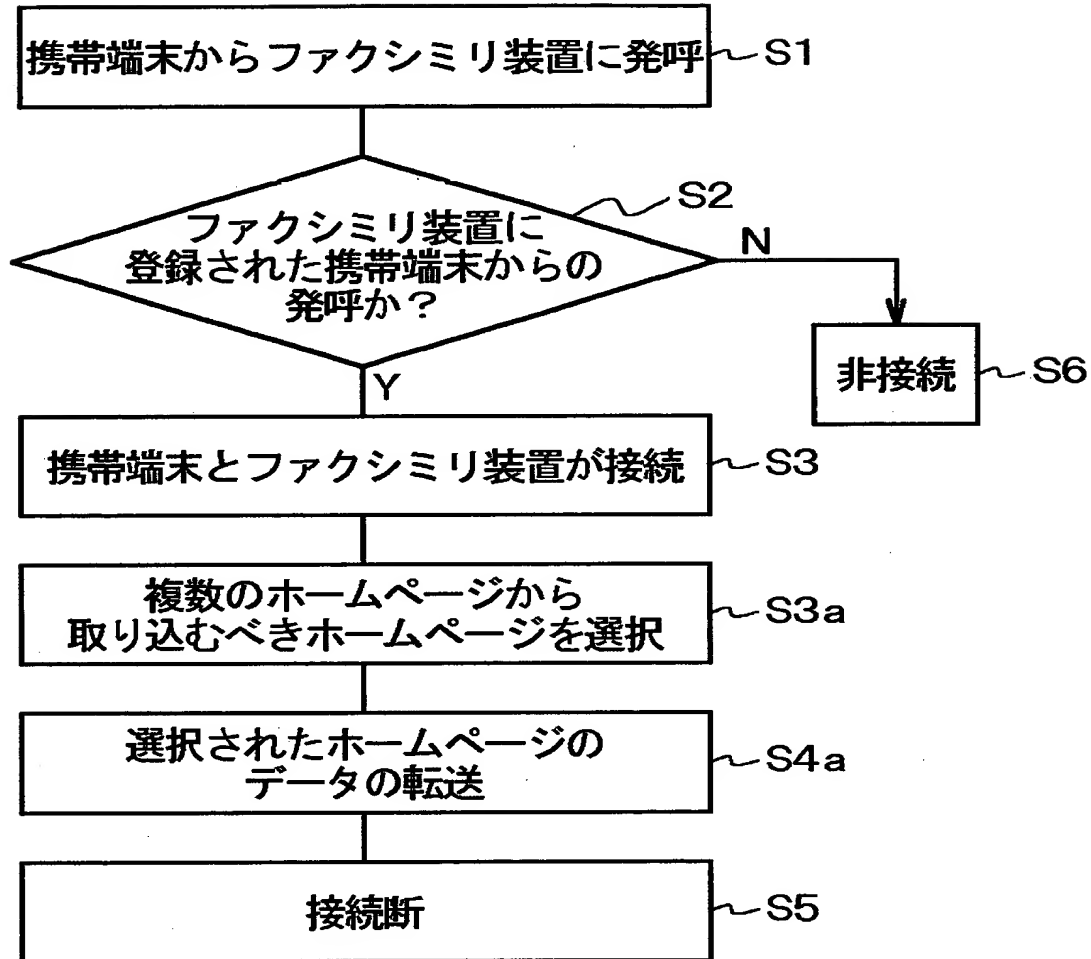
【図 1】



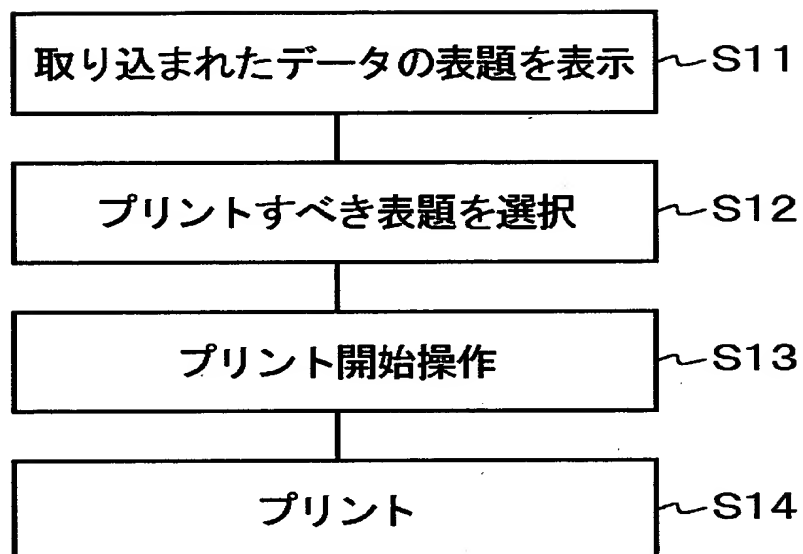
【図 2】



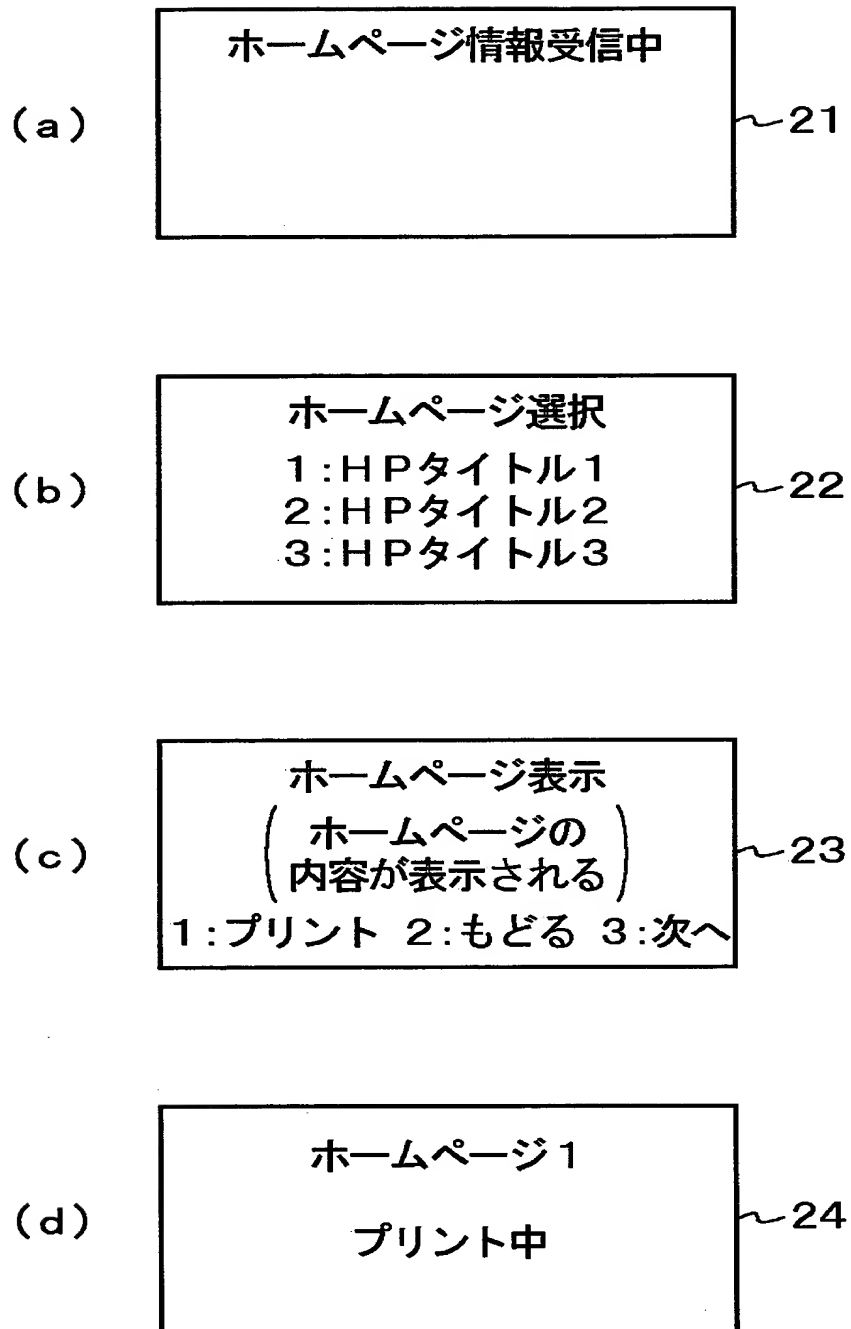
【図 3】



【図 4】



【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 外部端末にて受信された電子メールデータおよびインターネットデータを、その外部端末から受信可能な装置であって、大きな表示面積を有する表示部を備えることなく、受信データの全てを閲覧可能なファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】 電子メールデータまたはインターネットデータを受信可能な端末装置 7 と通信する無線部 3 と、前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータの一部を表示する表示部 2 と、前記無線部を介して前記端末装置から受信された前記電子メールデータまたは前記インターネットデータのうち前記表示部にて表示されない部分を印字する印字部 4 とを備えている。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 0 2 8 3 8 3
受付番号	5 0 0 0 0 1 2 9 1 7 3
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 2 年 2 月 7 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000197366
【住所又は居所】	静岡県掛川市下俣 8 0 0 番地
【氏名又は名称】	静岡日本電気株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100102864
【住所又は居所】	東京都品川区南大井 6 丁目 2 4 番 1 0 号 カドヤ 第 1 0 ビル 6 階 工藤国際特許事務所
【氏名又は名称】	工藤 実

【選任した代理人】

【識別番号】	100099553
【住所又は居所】	東京都品川区南大井 6 丁目 2 4 番 1 0 号 カドヤ 第 1 0 ビル 6 階 工藤国際特許事務所
【氏名又は名称】	大村 雅生

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000197366]

1. 変更年月日	1999年 4月 1日
[変更理由]	住所変更
住 所	静岡県掛川市下俣800番地
氏 名	静岡日本電気株式会社